校友時報

第57号
発行所 秋田県立能代高等学校新聞部
電話254番
編集人 小山鈴彦
印刷所 大藩堂印刷所

セイコー
オリエント　特約
シチズン
はりま時計店
柳町 T 314

三十周年記念行事準備着々進む

文化祭(全日)体育大会(25日)など
―予算総額四拾萬圓計上―

◇…九月二十三日は本校創立三十周年記念日にあたり、能代中学校…◇
◇…から新学制で能代南高となり、現三年生入学と同時に再び能代…◇
◇…高校と名称を変えて躍進を続けつつ地域社会に深く貢献をして…◇
◇…来た本校は各方面から祝福されているが、本校同窓会及び学校…◇
◇…ではこの日の為に種々な計画をたて着々と準備を進めている。…◇

主催者たる同窓会及び学校当局はこの栄あるべき祝典を盛大且つ意義高からしむる為に記念式典日二十三日を含めて三日間の日程を立てて、其の範囲で綜合祝典日程を立案したが、非公式乍ら表示されているのによると

第一日目　式典、祝宴
第二日目　弁論、音楽、演劇
第三日目　校内体育大会
全日間に亘る文化祭

と言った様なものであるが、文化祭は書道展、絵画展、新聞部による能高新聞部の交換している新聞展示や其の他新聞に関する展覧会、科学部のこれまでの丹念による研究物品の展示、更に生徒会総務部が主体となって〃三十年史〃を記念、参考物品に見る〃展などが企画されて居り、写真同好会でも写真コンクールを開くが、主催者側はこれ等に総額四十数万円を計上し、慎重な検討のもとに着々と用意を整えつつある。

尚、同窓会では記念事業として同窓会名簿を発行(市販)した外、植林を引続いて松山にする事になっている。

五度目の制覇成る
全国高校体操選手権

去る八月六、七日の二日間に亘って全国高校体操選手権大会が新潟県の折江中学校で行われた。伝統ある本校は、ついに五度目の優勝をも奪い取った。

五回の連勝ではないとは云いながら日本中の各高等学校を尻目にどう〳〵と〃全国一〃の最高名誉的なアダナをつけられた。個人でも又二、三、四位を得、全国一は依然として我が校の手中にある様だ。

更に一層の支援を
中村監督談

本校創立三十周年記念の年に第七回全日本選手権大会に於て五回目の優勝を遂げ得た事は選手と共に喜びにたえません。〃ノー文句〃〃悔の無い試合の為練習だけは徹底的に〃此れをモットーにして毎日のつらい練習に耐え続けて下された選手に対し感謝すると共に、盛大な歓迎の絵巻を繰りひろげて下さいました校長先生始めPTA、同窓会並に全校生徒の皆様に心から御礼を申し上げます。今年度は幸に優勝出来ましたが、全国的レベルを見ますと前途には相当の困難が横たわっております。私も部員と共に苦労を頒ち合い伝統を維持する所存でおります故、今後共よろしく御支援の程を御願い致します。

前夜祭を計畫
宣伝を兼ねて提灯行列を

企画部では、生徒会自体として来る三十周年記念に前夜祭を催す事になった。この為生徒会委員会が五日昼食後開かれ、企画部の案を検討したが、具体的な計画の立案を企画部に一任した。

企画部の草案は二十二日晩、旗提灯などで行列を行った後、グランドで大ファイヤーを囲んで応援歌などで気勢を上げようと云うもので宣伝を兼ねている。経費の見積りは七千円程度。

鈴木主将談

簡単ながら体操部を代表しましてあいさつを申します。

私達が新潟を想像したのとは反対に明るく気分のよいのにはおどろきました。

さて、会場は秋工に大変似ていて去年の大阪の様に都会的な気分にもなれずに気楽に試合する事が出来ました。

最後に帰能しました時には皆様の絶大なる御むかえを体操部一同感謝しまして紙上のあいさつをおわります。

出場選手を囲んで

★…五度目の優勝旗を持ち帰った能高体操部は中村監督下…☆
☆…鈴木主将を初め十五名の部員は来る県体を目指して練…★
★…習に励んでいるが、その下暇をさいてもらって全日本…☆
☆…を出場メンバーを招き喜びのお話を伺った。(敬称略)…★

―出席者―	
監督	中村先生
主将	鈴木清重
〃	田村一夫
〃	宮腰千義
〃	平川文雄
司会	水沢忠明

司会　出発日余り良い天気でありませんでしたが、新潟の方はどうでした。

鈴木　向うに三時頃ついたのですが、丁度あちらは雨上りでよい天気でした。

中村　新潟は全国的に体操の盛んな所で大変な観衆が居た。

宮腰　選手の方も多人数で最小限十名、大概の所二十五名位が一つの県から来ている様でした。

平川　男女会場を分けてやったが男の方は新潟県のモデルスクールの折江中学校でした。立派な所でした。

自信満々で臨場

司会　選手の態度はどうでしたか

中村　私は教練の審判主任で余り選手を見れなかったが、選手は最初から自信があったようだ。

鈴木　他の人が余り上手に見えなかった。(一同含み笑い)

司会　レベルは?

中村　決して低くはない。本校の様に四人揃っているチームがなかっただけだ。全体的には向上しているし、個人ならいいのがいる。

田村　個人優勝の岩松選手は体格いいし練習態度も立派だった。

司会　下馬評は?

先生　団体は東京桐朋　能代、個人は岩松とかここの四人とかが上っていた。

司会　充分に試合出来ましたか。

鈴木　まあね。

司会　優勝した時の感想は?

宮腰　会場に居た時は何とも思わなかったが、東能代に来てああ勝ったんだなあと思った。(一同同感)

中村　実際ああ云う歓迎を受けようとは思わなかった。意外だったね。

司会　本校選手の自信ある種目は

宮腰　点数のとれるものとしてなら鞍馬―。

鈴木　平行棒だな。

平川　徒手―。

田村　吊環―。

司会　一人一人違いましたが、この大会でその種目はどうでした

中村　全部勝てたわけです。

司会　先輩の方が来てましたか?

鈴木　只頑張って呉れたと云ってました。

司会　練習方法は?他県の―

田村　良いかどうか判りませんが汗を流してやってました。

先輩に應えて

司会　オリンピックに鍋谷、小野の両先輩を送ってますが、その影響など―

中村　実際、後輩に対して光明とか希望を与えていると思う。鍋谷は練習一つでああまでになった。小野は素質があった。秋田県の体操界に大きな希望を与えた。

司会　この次の試合の予想は?

中村　全日本が終ったからあがったりしているから一寸誤まると選手の実力が伯仲しているので順位に相当な開きがくる。

平川　団体は個人成績です。

中村　団体は楽なのだが、今度のも存分にやってくれると思う。

司会　この辺で。御苦労様でした是非団体五人男の中に皆が入るように―。

成績

全日本高校体操選手権大会

◆団体優勝　能代高
準優勝　桐朋高(東京)

◆個人綜合
一位　岩町　勉(島根県)
二位　鈴木清重(能代)
三位　平川文雄(能代)
四位　田村一雄(能代)

◆種目別
●徒手一位　岩町　勉(島根)
二位　平川文雄(能高)
●平行棒　鈴木清重(能高)
●吊環　田村一雄(能高)
●鞍馬　平川文雄(能高)
●鉄棒　平川文雄(能高)

体操部の制覇讃う
学校長　加藤正一

創立三十周年ことほぎの日の近くして制覇成りしこの子らを讃えむ

全国制覇成りぬと遠く報じ来てねむりの前の我のやすらぎ

五度の栄よろこびて呼び迎う八百人の子ら心一つに

五度の栄をになひて帰り来し子らを迎ふる街のとよめき

よろこびのこゑはげましのこゑ満てり勝利を歓ひゆく列の前

十里強歩30日に

十里強歩復活して四年目の十里強歩は今月三〇日に行われる事に決った。

富根橋出来た事による十六里復活の噂は噂だけになり、今後もずっと十里が行われる模様である。

論説
30周年文化祭は盛大に

来る本校創立三〇周年記念行事として文化祭の計画が関係者の間で着々進められている。音楽会、書道図画展覧会など盛沢山なプログラムが予想されるが、これを機に今までの本校の文化祭なるものを反省して見たい。

特に戦後、各団体―職場や学校などーで文化祭と言った催しを年一度位はもつ様になったのは、職場にあっては労働組合、学校にあっては生徒会が組織された事を端緒とするが、こうした波は本校にも文化祭を催す機運を生ぜしめ今まで何度か開催して来たのは周知の通りである。又これは他校に於いても殆どがそうである様に創立記念日をもってその開催日としているのであるが、今までのものは思い返せば余りに貧弱なものであったのではないだろうか。

本年度の文化祭は相当の予算が組まれ種々のプロが目論まれているが、そのでき上ったのは今知る術もないのでさておくとしても、又他校に於ける文化祭を比較せずとも、そのお粗末さは言い様がない二、三の文化クラブが思いついた様な出展の状態であった。殆ど横の連絡も縦の連絡もなくである。考えなければならない事は、又記念日たる九月二十三日が不幸(?)にも国民祝日となっている為に一日休日をフイにしたと云う意味合である。

思うにこの記念すべき日に今までは何割の出校する生徒が居ったであろうか。何も必ず出校しなければならないと言うのではない。又一応休みとしているならば骨休みに使うもいい、勉強に力をそそぐもいいが、敢えて登校したらなんとなくほこり、秋になって居り大掃除を命ぜられた―で良いだろうか。記念日が貧困であったのは主体たるべき同窓会が表面だっての企画がなかったためであるが、その日を飾るべき文化祭があの様であったのは学校や生徒会幹部の指導が適切を欠いたためであり、一層大きな原因はこうした催物に関心が希薄であるからなのかも知れない。欠より良点多しとして企画された以上　伊達でない限り真剣に対処すべき問題である。

結局、自主性と言う事になるのであるが、これはあらゆる面にあらゆる機会に叫ばれて来た事である。それだけにキザと見られるまでになった言葉だが、この問題を通しても今一度まじめに自身を振り返って見るべきであろう。これが記念すべき式典を迎える唯一の心構えであると何する。

さて、プロについて寸言するならば、単にお祭り気分を味うと言うのでは決してならないが、PTAに願って食堂など開くもいいし前夜祭の様なものも愉快な事である。学級対抗をもってなされる各種プロも良かろう。繰返す様になるが形式に流れ、一部のみの行事となる事なくいやしくも能高に恥辱なるものにとって皆愉快なものであって欲しい。

× × ×

今度の式典は三〇周年と云う飛躍の為のエポックとして考えるに格好の年度を背景にするのであるから、主催者たる同窓会、学校はもとよりPTA、生徒会は緊密な連絡のもとに有意義な式典であるよう準備される事を願って止まない

三点

▼東北の秋は早い。うだる様な暑さの中にも初秋の香が強く流れる感傷の秋！食欲の秋！読書の秋だ。今年は豊作、予想収穫高七十二万石との事▼「多くの本を読破するんだ」とか「重厚な奴を読破します」とか読書週間に大いに強調した様な声を聞くが、仲々実際にはどちらも中途半端になってしまう様なのが実情の様▼澄んだ空の下のスポーツも歓迎される所、この九月中は秋田市で県民体育大会所謂県体が大きなニュースだが、各運動部、国体がその後にあるから意気込みが一きわ烈しい。春には欲を言えばいくらでも欲は言える事だが、春のアノクライの成績を上げたのだから意地でも維持以上の事はして欲しいものである▼それが終り東北大会、国体までの一息つく間にまちにまった文化祭を迎えた創立三十周年が開催される。同窓会、学校の方では相当の予算を組み計画を進めている。文化祭の主体は生徒と思うが、文化祭の対策は如何?同窓会と学校の行事でなく能代高校に関する記念祭でありたい。▼中秋の名月にはこれまたおまちかねの十里強歩がある。今年は富根の橋も完成し成堂を催して復旧したとて六里になるかと思いはら〳〵したが結局十里に落ちついた。十里は手頃(?)だ。午前零時出発！▼月影ひとつ便りの沢路、山路ありの道を例年は足駄に制服制帽の大天が応援歌を放歌しつつ濶歩すりと言う。勇ましい限りだが道程は十里である。必要以上に元気なのは船川あたりでストップする危険あり▼強歩だから無理して走らなくとも良いわけだが、記録を見るのはまた愉快な事である。今までの最高は三時間二十二分、三時何が何人かと云う事が興味の的だろう。ます〳〵落伍しない様に準備しようでないか。一生の思い出になる事だ。(Y)

金物なら
なにからなにまで
―入りよい店―
三共金物店
畠町 TEL 391

最新の技術と
最良のサービス
カメラ・材料・現像・焼付
写真のパール堂

皆様の御要望に応えて
開店致しました
古書籍・新刊・文房具
駅前 芳賀書店

近代的な感覚と
サービス・技術
写真の唐津
畠町下 TEL339